

## 電気料金（特定小売料金等）の値下げの概要

## 1 主要前提諸元

原価算定期間	3年間（2019年度～2021年度）
販売電力量 （うち特定小売需要※）	706億 kWh （136億 kWh）
原子力発電電力量	296億 kWh（前回：252億 kWh）

※ 定額電灯、従量電灯（A、B、C）、低圧電力などの規制部門の需要。

## 2 値下げ率

「みなし小売電気事業者特定小売供給約款料金算定規則」に基づき算定した結果、特定小売料金は平均で▲1.09%の値下げとなりました。

新料金平均単価	旧料金平均単価	値下げ率
24.05 円/kWh (3,268 億円)	24.32 円/kWh (3,304 億円)	▲1.09%

（注1）（ ）内は、新料金原価および値下げ前料金収入。

## 3 家庭用料金プラン（従量電灯B）の値下げ影響（1か月あたり）

契約	月間使用量	新料金	旧料金	値下げ額
30 アンペア	250kWh	6,548 円	6,620 円	▲72 円

（注1）消費税等相当額、口座振替割引額、再生可能エネルギー発電促進賦課金を含みます。

（注2）旧料金には燃料費調整額を含み、新料金には離島ユニバーサルサービス調整額を含みます。（2019年3月分）

以上